

所属 南国市立北陵中学校
氏名 宮崎久瑞
R G J H 2

1 研究の背景

2年生は、全体的には、真面目に学習に取り組んでいる。英語を聞くことには、とまどいが少ない。簡単な質問に対しては挙手も多数あるが、どちらかと言えば控えめである。真面目ではあるが、学力があまり定着してなく、単語の綴り間違いも多い。インタビュー形式のコミュニケーション活動は定期的に続けてきたが、単語力不足から、表現するのに苦労する姿が多々見られた。自己表現することに自信がなく、人前で発表するには抵抗があるようである。自己表現する方法を学ぶことで、英語を使うことに少しでも自信が持てるようにしたい。

2 リサーチクエスト

ある話題について2分間会話を続けるにはどうすればよいか

3 予備調査

(授業後のアンケート結果より) 取り組みは良く、2分間、会話を続けようとしていた。しかし、話し始めは良いが、話を展開していくのがむずかしいようであった。単語での会話が長く、2分間続いたところも、考える時間等で話された内容が少ないということもあった。とりあげた話題が会話テストで扱ったものでなければもっと「できなかった」の回答が増えたと思われる。

(CRTより)

特に表現する力不足がうかがわれる。

()内は全国通過率

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	58 % (64.3)
イ 表現の能力	62.1 (66.9)
ウ 理解の能力	62.2 (66.2)
エ 言語や文化についての知識・理解	64.1 (64.1)

ア 聞くこと	75.2 % (76.4)
イ 話すこと	60.8 (65.0)
ウ 読むこと	61.7 (65.0)
エ 書くこと	56.7 (58.6)

(アンケート結果より)

- ・必要だと思われる活動
- ・英語で会話する 23%
- ・単語練習 16%
- ・文法 13%
- ・練習問題 12%

- ・どの力が必要か
- ・英語で書く力 53%
- ・英語で話す力 21%
- ・英語で聞く力 17%
- ・英語で読む力 9%

- ・つきたい力
- ・英語で書く力 44%
- ・英語で話す力 38%
- ・英語で聞く力 11%
- ・英語で読む力 7%

自己表現において、英語を話す、書くともに生徒が苦手意識をもっており、また、つきたい力としてもあげている。授業中のコミュニケーション活動や、書くことについて表現力不足を感じていると思われる。言いたいことや書きたいことがあっても必要な単語や表現がでてこない。会話が単語だけになってしまったり、書くことでは綴りがわからないので書けないことも見られた。

4 仮説の設定

仮説1 ある話題についてマッピングを行えば、会話を継続させ、発展させることができるだろう。

仮説2 つなぎ言葉を練習することによって会話をスムーズに続けることができるだろう。

仮説3 知らない表現についてリフレーズする方法を知り、練習することによって、会話が続けやすくなるだろう。

5 計画の実践

- 仮説 1 ある話題について相手の答えを予想して質問を考える練習をした。それをもとに会話練習をした。ALT の協力を得て、身近な話題についてマッピングシートを作成し、ALT と対話例を示した後、ペアで会話練習を行った。その後、自分でマッピングシートを作成し、2 分間会話を行った。
- 仮説 2 つなぎ言葉を載せたプリントを配布した。授業の中で定期的に行っているインタビュー活動の中で、会話例を示した。また「つなぎ言葉」と「あと 1 文」付け加えることを促し、評価の中に入れていった。
- 仮説 3 リプレイズすることが、実際にはむずかしく、できなかった。会話テストに向けての作文の中で、より簡単に書き換える例を示し、説明をしたが具体的にはできなかった。

6 実践の結果

- 仮説 1 マッピングシートがあるので、答え方も事前に考えることができ、会話の流れがつかめたように生徒はよく取り組めていた。普段手助けを必要とする生徒でも自分で会話を進めている場面が見られた。自分でマッピングシートを作ることは、前の練習でのことを参考にだいたい作ることができた。2 分間では話が終わってしまっていて続かないというペアは少なかった。
- 仮説 2 つなぎ言葉を学ぶ前は、会話の声が小さかったのだが、大きな声で会話するペアが多く表情もにこやかに会話できている場面が多く見られた。
- 仮説 3 知っている表現が少ないので、具体的な取り組みはできなかった。作文の中で例をあげて説明したので、作文を自分で書ける簡単な作文に書きかえることができた生徒もいたが、ごく一部であった。

7 結果の検証

(アンケート)より

マッピングシートを使って、良かったと思うこと

- ・話が楽しくできた
- ・会話がはずんだ
- ・自分の言いたいことが言える
- ・今後に生かせる
- ・流れがわかり、頭で考えることができた
- ・思考力もついた
- ・いろんな表現がわかった
- ・話をどうつなげればいいのかわかるようになった
- ・答え方がわかった
- ・英語を覚えた

つなぎ言葉を練習してよかったと思うこと

- ・会話が広がった
- ・会話がはずんだ
- ・話が続いて楽しい
- ・外国の人と話せる
- ・便利
- ・相手の話に対して自分の思っていることが言える
- ・すぐ使えたし、早く覚えれた
- ・会話の間があかないようになった
- ・意味もわかったし、使える
- ・話がつながる

会話の練習の取り組みで良かった点、改善したら良い点

- ・前より話せるようになった
- ・今までの復習になった
- ・会話の流れもわかったし使える
- ・会話がはずんだ
- ・すごく楽しかった
- ・続けようと頑張った
- ・皆と会話ができた
- ・たくさん英語を使えた
- ・実際に使える
- ・つなぎ言葉を覚える
- ・積極的に取り組む
- ・もっといろんな会話を練習したい
- ・発音にも気をつける
- ・はっきり話したり、ジェスチャーも取り入れたらいい

2 分間会話を続けることはどうでしたか。

- ・楽しかった
- ・良くできたし、続けることもできてとても良かった
- ・いい時間だった
- ・最初は長いと思ったけど、後の方ではもっと話したいと思うようになった
- ・とっさに言葉がでるようになった
- ・あっと言う間に終わった
- ・けっこう続いた
- ・少し長いけれど話がはずめばはずむほど楽しかった

8 成果と今後の課題

2 学期、体育祭、修学旅行などの行事が終了した後も、すぐ定期テストなどで時間をとられる中、教科書の内容についても消化しなければならないこともあって本当に短期間の取り組みとなってしまった。生徒の感想では「楽しかった」と言う感想が大部分で、スムーズに会話が続き、話がはずんだことに喜びを感じていることがわかる。つなぎ言葉を知り、マッピングシートで会話の流れがつかめたことで「話してみよう」という意欲に結びついたように思う。今後も続けてほしいという意見も多かった。英語を話すことは楽しいと思えるきっかけになった。何も見ず会話をする予定だったが、最終的に自分でマッピングシートを作成して会話をしたので、頼るものがあった。何も見ず、会話を続ける為には、何度か繰り返し練習する必要がある。今回は今までと違った取り組みで、興味をひいた点もあるので、継続的に取り組み、会話の流れを定着させたい。会話を発展させるためには、やはり自分の言いたいことを表現できることが大事なので、基本文を定着させ、さらに応用できるようにしなければならない。生徒の実態を考えると、語順等、基本的な部分で正確さに欠ける点があるので、細かい指導とチェックを日々の授業でしていく必要がある。